

第9回徳島東部地域定住自立圏推進協議会 会議録

日 時：平成30年3月29日（木曜）13時30分～14時30分

場 所：阿波観光ホテル 4階 ダイヤモンドパレス

1 開 会

（司会）

ただ今から「第9回徳島東部地域定住自立圏推進協議会」を開会いたします。

本日、推進協議会の会長であります遠藤徳島市長が出席予定でしたが、急でございますが所用により欠席いたしておりますので、会長に代わりまして、はじめに、平山徳島市第一副市長より、ごあいさつを申し上げます。

（会長：徳島市長代理平山第一副市長）

みなさん、こんにちは。副市長の平山と申します。急遽、遠藤市長の代役となり、誠に申し訳ございません。市長に代わりまして一言あいさつ申し上げます。

はじめに、皆様、3月議会、本当にお疲れさまでした。徳島市の阿波おどり事業については、新聞等の報道もあり、皆様にご心配をおかけしております。阿波おどりは、本市だけでなく徳島県全体の財産でもございます。今年の阿波おどりは徳島市が中心となり全職員がかかってでもやり遂げるつもりでございます。阿波おどりの開催による経済効果は約100億円とも言われており、東部圏域においても、なくてはならない事業であると思っております。皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、第9回目を迎えました、徳島東部地域定住自立圏推進協議会にご出席いただき、本当にありがとうございます。委員の皆様方におかれましては、東部圏域の連携事業の円滑な運営について、日頃より多大なるご尽力を賜りありがとうございます。この場をお借りして、中心市として厚く御礼申し上げます。

皆様ご承知のとおり、徳島東部地域定住自立圏の取組につきましては、平成28年度を初年度とする第2次共生ビジョンに基づき、子育て支援の充実等、様々な事業を実施しております。昨年度は、総務省より、成果指標の設定やPDCAサイクルの構築が要請されており、今後一層の成果検証や評価に基づく事業の実施が必要となってまいります。こうした中、当圏域におきましても、PDCAサイクルの適切な管理、運営を行い、共生ビジョンに基づく取組を着実かつ効果的に実施することで、徳島東部圏域の継続的な発展、さらには圏域すべての住民が安心して、暮らし続けたいと思える、潤いと賑わいのある魅力あふれる圏域の実現につなげてまいりたいと考えております。

本日は、共生ビジョンの取組状況について、また、平成30年度予算を反映させた共生ビジョンの変更について、ご協議をいただくことになっております。委員の皆様方にはどうか忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。

それでは、会議の進行につきましても、平山副市長にお願いしたいと思います。副市長、よろしく願いいたします。

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

まず、協議に入ります前に、この推進協議会に初めてのご出席となります委員さんに、ごあいさつをお願いしたいと思います。

(勝浦町長)

2月に就任いたしております、勝浦町長の野上でございます。このような機会を与えていただきましてありがとうございます。

就任いたしまして勝浦町のまちづくりに誠心誠意取り組んでいるところでございます。各自自治体を取り巻く課題は非常に難しいものが多々ございます。こう言ったものについては身近な市町村との連携がなければ事業も完結しないと思っております。そういった意味では、広域の定住自立圏、広域連携については、非常にわが町にとってはありがたいものと考えております。今後とも精いっぱい努力をしていくつもりではございますが、皆様のご指導、ご支援、またご協力もお願いして、簡単ではございますがあいさつとさせていただきます。よろしく願いします。

(松茂町長)

みなさん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました松茂町長の吉田でございます。

私も去年の8月に就任させていただきまして、あっという間に半年が過ぎたような感じでございます。この東部の組み合わせと申しますと、一番始めから、ちょうど私が企画課長の時くらいに参加をさせていただいて、最終的なところで落ち着いたのが東部自立圏というものでございます。私どもも、チャレンジをしていく町ということを目指しておりまして、その折にちょうどDMOに力を入れて精力的にやっていくということが打ち出されたため、これにちょうど乗っていけるのではないかと。小規模な町ではございますが、このDMOについても徳島市を中心とした皆様方と、その中で一端を担って頑張っていきたいと考えておりますので、今後共皆様のお力もいただきながら頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(藍住町長)

昨年の12月に藍住町長に就任いたしました高橋でございます。よろしく願いいたします。

私はこれまで30年間役場の方に勤めて、最後が企画政策課長で終わりました。町長になって、またこの会に出席するようになったわけでございますが、藍住町というのはこれまで右肩上がり人口も増加してきて、3万5千人を少し超えたところでございます。し

かし、2025年くらいには、減少するだろうという推計も出ております。人口の維持、増加につながるような施策を展開していきたいと職員にはそのように言っております。また、こういった会、特に広域で連携する会は、私たちにとって非常に有意義な会ではないかと思っております。これからもどうか連携のほどよろしく願いいたします。

(上板町長)

ただいまご紹介いただきました上板町長の松田でございます。私は昨年10月20日に上板町長になりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

この徳島東部定住自立圏につきましては、各市町村の定住を促進させるための医療、福祉、産業、インフラなどの様々な分野におきまして徳島市を中心とした近隣市町村が連携する重要な施策であると認識しております。今後ともお互いが助け合いながら一体となって魅力あるまちづくりをめざし、圏域をますます活性化させるべく、私自身も一層の努力をしたいと考えているところでございます。私もまだまだ不勉強なところがございますが、委員の皆様にはご指導ご鞭撻のほどお願いいたしまして簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 協議事項等

(1) 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

それでは、お手元でございます次第にしたがいまして、会議を進行させていただきます。

まず、「協議事項等」の「(1) 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況について」、事務局から説明してください。

(事務局)

—「資料1 定住自立圏形成協定に規定する取組(20項目)及び連携市町村一覧」
の説明—

—「資料2 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況(平成29年度)」
の説明—

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

共生ビジョンの取組状況について事務局から説明がありました。

これにつきましてのご意見・ご質問につきましては、次の協議事項と合わせまして、後ほどお受けしたいと思います。

それでは続きまして、「(2) 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの変更について」、事務局から説明してください。

(2) 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの変更について

(事務局)

—「資料３－１ 第２次東部地域定住自立圏構想共生ビジョン（変更案）」の説明—

※「資料３－２ 第２次東部地域定住自立圏構想共生ビジョン連携事業一覧（変更案）」
は配布のみ

（会長：徳島市長代理平山第一副市長）

ただ今の説明に関しまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、どうぞお願いいたします。

（意見なし）

（会長：徳島市長代理平山第一副市長）

先般２月２１日に定住自立圏共生ビジョン懇談会が開催されましたが、そこで懇談会の委員さんから共生ビジョンの取組状況等について、どのようなご意見やご提言が出されたのか、事務局から報告をお願いします。

（事務局）

政策分野の関係者等で構成されます徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン懇談会におきまして、委員の方からいただきました主な意見についてご報告させていただきます。

共生ビジョンの全体に係る意見としましては、大規模災害時の対策や対応を各市町村が連携して行えるような体制が必要といったご意見のほか、少子化対策における取組として結婚支援の取組が大切等のご意見をいただきました。また各事業とも周知が効果に大きく影響するので市町村の広報誌にPRのためのコーナーを設けてみるのも良いと思う等の広報面に関するご意見もいただきました。

各施策に係るものとしましては、特産品のブランド化や地産地消の推進に関しては、事業効果を測るうえでは予算や実施方法が効果的であるかを検証すべきであるのご意見をいただきました。その他、就労・就農対策連携強化に関するご意見といたしまして、農業に関する人手の確保策や協力について東部圏域で連携して行えると良い。さらには、移住・定住施策に関するご意見として、小さいお子さんがいる女性が働きやすい環境の整備も移住促進の一つである等のご意見をいただきました。

いただきましたご意見につきましては、共生ビジョンに掲げる具体的な事業に反映できるよう検討していきたいと考えております。

（会長：徳島市長代理平山第一副市長）

懇談会の委員の皆さんからいただいたご意見・ご提言につきましては、共生ビジョンに反映できるよう、検討していただきたいと思っております。

委員の皆さんのご意見を踏まえ、何かご意見がございましたらお願いいたします。

（意見なし）

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

それでは共生ビジョンの変更につきましては、お示した内容で進めてまいりたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

ありがとうございます。それではよろしくお願いいたします

以上で協議していただく事項は終了いたしました。事務局から報告がございます。

3 その他

(事務局)

徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局におきまして、定住自立圏構想の取組を圏域住民にPRする広報活動の一環として、定住自立圏PR動画を作成しておりますので、ご覧いただきたいと思っております。各市町村におきましてもご活用いただければと思っております。

—動画上映—

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

以上で、本日予定の議事等はすべて終了いたしました。今日は、12市町村長の皆さんがお集まりいただいておりますので、この機会に定住自立圏以外のことでも結構ですので、何かご発言等はございませんか。

(石井町長)

徳島市長をはじめ、近隣市町村長の皆様方におかれましては、日頃より本町の広域行政全般にわたりまして、ご理解並びにご協力を賜っておりますことを、この場を借りて心より厚く御礼申し上げます。

先ほど、平山第一副市長から定住自立圏構想以外の話でも良いということでしたので、せっかくの12市町村長の皆さまが揃っている場ですので、学区制のことについて少し話させていただきたいと思っております。と言いますのも、定住自立圏構想に全く関係のないことでもないと思っております。共生ビジョンの2ページに通勤・通学の状況が載っておりますが、平均すると、近隣市町村から3割ほどが徳島市に通勤・通学をしている状況でございます。また、交通網の整備等により、圏域住民の交流が活発化され、通勤・通学や買い物、医療、福祉など日常生活の結びつきが、ますます強まる一方で、社会を支える世代の定住を促進させることが、これからの課題となっております。

先日、徳島新聞に学区制の見直しや廃止についてのアンケート調査の結果が掲載されていましたが、本日お集まりの12市町村の中で、6市町村では学区内に行くことが可能、

残る6市町では学区外の生徒は8%といったように高い壁があります。先日、板野町長の音頭により、鳴門市と石井町で、徳島県、徳島県教育委員会、並びに県議会に対し要望を行ってきたところでございます。この学区制につきましては、昭和47年に制定されたものであり、今の時代に合っていないのではないかと思います。当時は第二次ベビーブームの真っ最中であり、人口が増加する一方であり、高校も通学圏内を決めなければならないというような一定の制限が必要であったのかもしれませんが。定住自立圏共生ビジョンにも書かれておりますように、人口減少が進んでいく中で、各市町村における生徒、子供たちの可能性を広げていかなければならない。学区制がその障害になっているのではないかと考えているところでございます。

徳島東部地域定住自立圏構想の中に鳴門市は入っておりませんが、徳島県には広域の市町村圏というのが皆様方ご承知のようにあり、東部、南部、中央、美馬、三好の5つの広域市町村圏というのが形成されております。徳島東部地域定住自立圏に鳴門市を入れると、13市町村で構成する東部圏域市町村圏が成立しますが、13市町村の中で、学区制を廃止すべきだという市町が7、学区制を維持するという市町村が6となっております。

定住自立圏共生ビジョンの項目に加えることの要望ではございません。学区内の市町村にも課題があると存じますので、すべての点で足並みを揃えていくというわけにはいかないと理解しておりますが、今後も、板野町、小松島市や鳴門市をはじめ、学区制を廃止すべきとする皆様方と石井町と共に、徳島県並びに教育委員会等に強く要望をしていきたいと考えておりますので、この点につきまして、ご理解をいただきたいと思っております。

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

石井町長さんからご発言があったことについて、何か意見はございますか。

(板野町長)

石井町長さんから発言があった学区制の問題については、連携という観点でのお話であろうと思います。私どもの町にとっては、40数年続く総合選抜という制度が、制度創設以来の懸案事項でございます。県知事、県教委及び県議会に対して、3月22日に学区制の廃止に関する要望を提出するなどの動きをしておりますので、ぜひともご理解いただきたいと思っております、このような状況をお話しいただいた次第です。皆様のご賛同、ご理解を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

ありがとうございました。他にございませんか。

学区制については、非常に重要な問題あることは十分に認識をしております。しかし、この会の趣旨としては違った部分があるかと思えます。ご意見については両町長さんから賜りましたので、認識をしておきたいと思えます。

3 閉 会

(会長：徳島市長代理平山第一副市長)

以上で本日の予定の議事等は全て終了いたしました。今後につきましては、共生ビジョンの変更を踏まえまして、取組の成果を把握・検証し、次の施策や事業に反映させていくことで、より効果的な施策や事業を進められるよう努めてまいりたいと考えております。また圏域12市町村の協力関係のもと、徳島東部圏域の継続的な発展につながるよう皆さんと共に努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして「第9回徳島東部地域定住自立圏推進協議会」を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

以 上